

発達支援ルームそらまめ
発達支援ルームそらまめ 2

放課後等デイサービス
支援プログラム

(2025年4月1日)

1. 法人理念

リンケージは、ご本人やご家族とともに、発達特性の中に隠された素晴らしい個性を見つけ、育むお手伝いをしています。

2. 支援方針

自閉スペクトラムやADHDをはじめとする発達特性のある小学生・中学生・高校生を対象とした放課後等デイサービスです。お子さま一人ひとりの「やってみたい！」「挑戦したい！」「一緒に遊びたい！」という気持ちを大切に、遊びや活動を通じて友だちとの関わりをサポートします。そして、「楽しい！」「できた！」という成功体験を積み重ねることで、「自分にはこんなことができる」という自信と意欲を育み、さまざまなことにチャレンジできる力を養います。

また、発達支援に理解のあるスタッフが常勤し、温かい雰囲気の中で安心できる居場所づくりを大切にしています。お子さまの得意なことや苦手なことを把握するためにさまざまな検査を活用し、一人ひとりの特性に合わせた支援を行います。本来持っている力を伸ばし、成長をサポートすることで、お子さまが安心して過ごし、笑顔で成長できる環境を提供します。

3. 営業時間

9:30 ~ 17:30

4. 送迎

あり(※自宅への送迎は行っておりません)

5. 本人支援

① 健康・生活

お子さまが元気に過ごせるよう、健康状態を見守り、特に気持ちを言葉で伝えにくいお子さまの小さな変化にも気づけるよう、細やかに観察し適切に対応します。健康的な生活を送るため、生活リズムを整えることや服装・室温管理、換気、病気予防、安全対策を徹底し、快適な環境を整えます。

また、遊びや日々の体験を通じて学びを深められるよう、時間や空間の使い方を工夫し、わかりやすく示すことで安心して過ごせる環境を提供します。さらに、特性に応じて「自分で考えて行動する力」を育むため、一緒に考えながらできることを少しずつ増やせるよう支援します。家庭でも「やってみたい！」という気持ちを尊重し、挑戦できる環境を整えることを大切にします。

② 運動・感覚

お子さまの感覚特性に応じた支援を行います。音や光、触覚刺激に敏感な場合は、安心できる環境を提供し、感覚の反応が弱い場合は適度な刺激を取り入れ、感覚を意識しやすい活動を行います。視覚・聴覚・触覚を活かせるよう、遊びや体験活動を通じた支援を実施します。

また、運動能力の向上を目的に、姿勢や動作の基本技能を養うプログラムを実施しています。バランス遊びやジャンプ運動で姿勢保持を促し、ボール遊びや身体遊びで複雑な動作のスムーズな実行を支援します。さらに、物づくりなどの細かい作業を通じて手先の器用さを高めます。ストレッチや体幹トレーニング、散歩などを取り入れ、筋力の維持・強化にも努めます。

③ 認知・行動

お子さまの認知特性を理解し、それに応じた支援を行います。入ってくる情報を適切に処理しやすくするとともに、こだわりへの対応も行います。視覚・聴覚・触覚などを活用し、情報を適切に受け取れるよう支援しながら、認知機能の発達を促します。

また、得た情報を過去の経験と照らし合わせ、環境や状況を正しく理解し、適切な判断や行動につながられるよう支援します。物の機能や空間、時間などの概念を育み、それを認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援します。

④ 言語・コミュニケーション

お子さまが自分の思いや考えを伝え、周囲とスムーズに関われるよう、言葉だけでなく表情や身振りなどを使ったコミュニケーション方法の習得を支援します。言葉の理解や表現力を育むため、ジェスチャーや絵カード、コミック会話を活用し、相手の意図を理解しながら自分の考えを伝える練習を行います。

また、日常の出来事や自身の行動に関連する言葉を学び、言葉の習得をサポートします。他者との関わり方を学ぶため、相手と注意を向け合う力や行動・意図を理解する力を育て、状況に応じた適切な言葉の使い方を学びます。必要に応じて具体的な場面を想定した練習を取り入れ、自分の思いを適切に伝えられるよう支援します。さらに、特性に合わせた読み書きの支援を行い、楽しみながらコミュニケーション能力を伸ばせるよう、一人ひとりに合った方法でサポートします。

⑤ 人間関係・社会性

お子さまが安心して周囲の環境や人を信頼できるよう、温かい関わりを大切にし、信頼関係を築くことで自己肯定感を育みます。不安を感じた際にはスタッフが寄り添い、安心できるようサポートし、安定した環境の中で感情を落ち着かせる力を養います。

また、自分の気持ちや体の状態に気づき、感情をコントロールしやすくする支援を行うとともに、他者の気持ちを理解し、円滑なコミュニケーションが取れるよう促します。遊びを通じて他者と関わる力を養い、感覚・運動遊びから見立て遊びやごっこ遊びへと発展させ、想像力や社会性を高めます。

お子さまの「得意なこと」や「苦手なこと」を理解しながら自己肯定感を育み、気持ちの調整を学び、状況に応じた行動ができるよう支援します。また、集団活動を通じてルールを理解し、協力する力を養い、仲間との関係を築けるよう促します。

6. 家族支援・移行支援

お子さんの成長を支えるため、家庭生活の安定と充実を目指し、お子さんの発達状況や特性、個性を理解していくアドバイスや子育て相談、保護者様同士の交流の機会の提供を行います。また、きょうだいへの相談支援、子育てや障がいに関する情報提供を通じ、ご家族が安心できる環境づくりを支援します。

移行支援として、放課後等デイサービス以外の場へ円滑に移行できるよう、支援内容の共有や進路選択のサポートを行います。併行利用している施設がある場合は、施設間で情報共有を行い、適切な支援と調整を実施します。また、地域の子どもたちとの交流機会を提供し、社会とのつながりを深める支援にも取り組みます。

7. 地域支援・地域連携

地域の関係者や関係機関と連携しながら、最適な支援を提供します。お子さまが通う学校や放課後児童クラブ等と情報を共有し、支援方法や環境の調整について相談・援助を行うとともに、必要に応じて放課後等デイサービス計画の作成や見直しに関する会議を開催します。

また、相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所とも連携し、お子さまの生活や発達をサポートします。さらに、虐待の疑いがある場合には、児童相談所やこども家庭センターと情報を共有し、お子さまの安全を最優先に適切な対応を行います。

加えて、お子さま一人ひとりの状況に応じた最適な支援を提供するため、関係者が集まり個別ケース検討会を開催し、支援の質の向上に努めています。地域と協力しながら、お子さまたちが安心して成長できる環境づくりを目指します。

8. 職員の質の向上に向けた取り組み

職員の専門性向上を目的に、外部研修会や講演会への参加を推奨し、学んだ知識を施設内で共有する仕組みを整えています。また、「虐待防止・身体拘束委員会」「感染・衛生管理委員会」「防犯委員会」「防災・災害対策委員会」など、各分野に特化した委員会を設置し、継続的な質の向上を目指しています。

さらに、委員会全体での研修を実施し、施設全体のレベルアップを図るとともに、実際の事例をもとにした事例検討会を開き、より良い対応策を議論します。加えて、災害や緊急時に備えた BCP(事業継続計画)に基づく実働訓練を行い、各部署でも必要な知識やスキルを習得できる研修を実施することで、職員のスキルアップを促進します。

9. ソーシャルスキルクラブのご紹介

ソーシャルスキルクラブでは、小学生から高校生までを対象に、実生活に役立つスキルや社会性を楽しく学べる場を提供しています。

・中学生・高校生クラス(毎月第1土曜日)

中学生・高校生クラスでは、より実践的なソーシャルスキルトレーニングを行います。買い物や調理の活動を通して、自立した生活に必要なスキルを習得します。また、バスなどの公共機関を利用しながら、実社会で求められるマナーや行動の仕方を学びます。見通しをもって行動できるようサポートし、自分で考え、適切に判断できる力を少しずつ育てます。さらに、自己理解を深めるワークやマナー講座を取り入れ、自分の強みや課題を知りながら、適切なコミュニケーションや社会での立ち振る舞いを学びます。

・小学生クラス(毎月第2・4土曜日)

みんなで話し合いながら役割を決め、買い物やお昼ごはん作りに挑戦します。お友だちと協力しながら楽しく活動し、コミュニケーション力や協調性を育むことを目的としています。また、バスなどの公共機関を利用する練習も行い、外出時のマナーや移動の仕方を学びます。先生のお手本を見ながら、視覚的なサポートを活用し、自分でできることを少しずつ増やすことを目指しています。

10. 主な行事等

子どもたちが楽しく充実した時間を過ごせるよう、さまざまな活動を企画しています。創造力を育む工作 や、みんなで協力して作る おやつ作り、体を動かしてリフレッシュできる 公園遊び など、多彩なプログラムを用意しています。

また、路線バスや電車を利用した 外出活動 では、遊園地や芋ほりなど、ワクワクする体験が満載！さらに、Switch ゲーム祭り では、みんなで盛り上がる楽しい時間を提供します。

加えて、お花見やハロウィン などの季節ごとの特別イベントも開催し、一年を通して思い出に残る体験ができるよう心がけています。